



ふくしま教育ニュース

2023年7月 第60号 編集・発行 福島県教育委員会

キビタン©福島県

「学びの变革」実現のための戦略 ～ 学びの变革と学校の在り方の变革を推進しました ～

大沼教育長からメッセージ ～ 学びの变革と学校の在り方の变革を推進します ～



「一人一人の多様な幸せと社会全体の幸せであるウェル・ビーイングの実現」を目指すべき姿とした第7次福島県総合教育計画では、本県教育の柱に「**学びの变革**」を掲げました。これは、全ての子どもに必要な資質・能力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、**個別最適化された学び**、**協働的な学び**、**探究的な学びへ転換をする「学びの变革」と、その実現のための環境づくりとしての「学校の在り方の变革」**を進めていくものです。子どもたちの可能性を信じ、一人一人が主役となる教育の実現に取り組んでまいります。

「学びの变革」実現のための戦略 (令和5年度 福島県教育委員会 主要施策)

1 「学びの变革」 実現戦略

- (1) 「授業」を中心に据えた「学びの变革」の実現エビデンスに基づく学力向上 (ふくしま学力調査事業)
 - 学力向上支援アドバイザーの配置 **【新規】**
 - 教科担任制加配の配置増 **【拡充】**
 - ふくしま高校生学びの变革支援事業 **【拡充】**
- (2) これからの時代に求められる新しい学びへの挑戦 コミュニケーション教育の推進
 - 豊かな体験活動の推進 (チャレンジ！子どもがふみだす体験活動応援事業)
 - 情報化社会に対応した人材の育成 **【拡充】**
 - 世界で活躍する人材育成の推進 **【新規・拡充】** (ワールド・ワイド・テング・コラーガムの形成、海外留学支援)
 - 福島イノベーション・コースト構想を担う人材の育成
- (3) 非認知能力を高める幼児教育の充実
 - ふくしま幼児教育研修センターの設置 **【新規】**
 - 幼児期からの運動習慣形成 **【新規】**
- (4) 一人一人の認知特性等に合った特別支援教育の充実
 - 地域で共に学び、共に生きる教育の推進 **【拡充】**

2 「学校の在り方の变革」 実現戦略

- (1) 多様性を力に変える学校への变革
 - 個別支援教育の推進 **【新規・拡充】** (高校での「居場所」づくり)
 - 不登校への学習支援体制の構築・強化 **【新規・拡充】** (不登校児童生徒支援センターの設置)
 - 生徒参画による校則の見直し
 - 学びのセーフティネットとしての特別支援教育の充実 **【新規・拡充】** (長期入院児童生徒への学習支援)
- (2) 魅力ある学校への变革
 - 探究を軸とした魅力ある学校づくり **【新規】** (ふくしまを創る若者のプラットフォーム構築事業)
 - 震災と復興を未来へつむぐ語り部の育成
 - 特色化推進による魅力ある学校づくり
 - 統合校の魅力化・特色化の推進 **【新規・拡充】**
- (3) 働き方と勤務の在り方の变革
 - 多忙化解消アクションプランⅡの推進
 - 働き方と勤務の在り方の变革につながる人事配置等の見直し
 - 中学校における休日の部活動地域移行の推進 **【拡充】**
 - 各種大会・コンクール等の精選

3 「变革」を支える基盤の整備

ICTスキルハンドブックの作成・周知 **【新規】**

チーム学校を支える体制強化 **【拡充】**
学び続ける教師のための研修環境整備
社会に開かれた戦略的な教育情報の発信 **【新規】**

戦略って何ですか？



目標に到達するための行動計画のことで

教育委員会における今年度の主な取組をパッケージとしてまとめました。次のページから主な取組をご紹介します。

福島県教育委員会公式 note サイト「福島県学びの情報プラットフォーム」を開設しました!



県教委の公式 note サイトはこちら!



福島県教育委員会では、令和5年3月にnote (株) と連携協定を結び、福島県教育委員会公式noteサイトを開設しました。このサイトは、県内の学びの「今」と、学びを支える地域や社会の「志」をつなぐ、noteでつくるWebメディアです。発信を通じて子どもたちを支える応援団をつくっていきます。

このサイトでは、探究活動や豊かな学び、子どもたちの活躍の様子など、すべての県立学校の記事を掲載しています!! また学校だけでなく、子どもたちの学びを支えている地域の方々や企業、各種団体と連携した「福島を生きる」教育の実践なども紹介しています。県教育委員会公式広報のツイッターも開設したので、ぜひご覧ください!

福島県教育委員会公式noteサイト : <https://fukushimapref-edu.note.jp/>



県教委広報のツイッターはこちら!



「学びの変革」実現のための戦略 ～「学びの変革」実現戦略～

世界で活躍する人材育成の推進

ふたば未来学園中学校・高等学校は、令和2年度より、文部科学省指定「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(グローバル型)」に3年間取り組みました。その中で、自治体や大学、NPO法人などによるコンソーシアムの構築、地域の課題解決を図る探究活動と海外研修を軸としたカリキュラムの研究開発を行いました。

令和5年度からは、文部科学省の「WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業」の事業拠点校として、ふたば未来学園が指定されました。県内外の高校や大学等と連携しながら、より探究的で文理融合した高度な学習プログラムの研究開発、実践、検証をしていきます。

福島県教育委員会は、令和5年3月29日に東北大学高度教養教育・学生支援機構と教育連携協定を締結しました。この協定により、WWL事業の取組を加速させ、世界で活躍するグローバル・リーダーの育成を目指します。



国連本部(ニューヨーク研修参加生徒)



哲学対話(ドイツ研修参加生徒)



東北大学との教育連携協定

「ふくしま幼児教育研修センター」が開所しました!

幼児教育段階から育成される非認知能力は、小学校以降の学力向上に大きな影響を与えます。そこで福島県教育委員会は、「ふくしま幼児教育研修センター」を開設し、令和5年4月から福島県教育センター内で業務をスタートしました。

本センターでは、幼児教育の充実と幼小連携の取組の推進を目的とし、実態等の調査・研究を行うとともに、県内すべての幼児教育施設の保育者を対象とした研修を実施してまいります。また、3つのモデル地区を指定し、研修支援を行うとともに、幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた研修も進めてまいります。



県立福島工業高等学校の生徒が名板を作成



視覚支援学校幼稚部を開設しました

令和5年4月10日(月)に福島県立視覚支援学校幼稚部の開設式を行い、幼稚部2名の学習がスタートしました。

開設式では、幼児2名が会場の温かな雰囲気になんし、保護者と一緒に、時折笑顔を浮かべるなどしながら、お話をよく聞いて参加することができました。小学部児童による歓迎のことばとダンスも式に花を添えました。

入学後は幼稚部の生活にも慣れ、ピアノに合わせて歌を歌ったり、外遊びの時間にブランコに乗ったりしながら、意欲的に学習することができています。

幼稚部では、早期からの学びを保障するため、一人一人の見え方に配慮した環境づくりと体験的な学習を充実させていきます。



「学びの革新」実現のための戦略 ～「学校の在り方の革新」実現戦略～

不安を抱える児童生徒が安心できる居場所づくり 「スペシャルサポートルーム」(通称:SSR(エスエスアール))



不登校または不登校傾向にある児童生徒のための教室として、県内の小中学校24校にSSRを設置しています。SSRでは、専任の教員を配置し、児童生徒が自分で決めた時間割をもとに、教員の支援を受けながら学習を進めたり、オンラインによる学習に取り組んだりしています。SSRの入口や学習機の周りにはパーテーションやソファを設置してリラックスできる環境づくりを行うなど、**不安を抱える児童生徒が安心して学ぶことのできる居場所づくり**に取り組んでいます。専任の教員がいない学校でも、空き教室等を活用して、独自にSSRの取組を行っている学校もあります。県教育委員会のHPでは「ふくしまサポートガイド」の中で、SSRについての説明を掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

ふくしまサポートガイド

検索



震災の記憶と教訓の継承・発信

『「ふくしまの未来」へつなぐ体験応援事業』では、社会体験活動を通して震災の記憶を継承し、主体的に復興に寄与するたくましい子どもたちの学びを応援しています。東日本大震災の災害の爪痕が残る施設を見学したり、復興のためにがんばっている方々のお話を聞いたりすることで、子どもたちは「どうして、こんなに復興のためにがんばれるのだろうか?」「自分の暮らしている地域の未来はどうだろうか?」と**震災や復興について自分事**として考え、発信し、次につないでいます。

また「**震災と復興を未来へつむぐ高校生語り部事業**」では、令和4年12月21日～23日に、あさか開成高等学校1・2年生の4名が関西語り部交流活動を行いました。21日は兵庫県立淡路高等学校と交流して**震災学習**を紹介し、22日は京都光華高等学校と、23日は大阪明星高等学校とも交流して、絵本『きぼうのとり』の読み聞かせをとおして震災を伝えました。



福島県を紹介し
海外の高校生とオンライン交流



東日本大震災伝承館
での深い学び



大好評!
「おおくまベリーティー」



歩いて初めて知った
「双葉町」

～多くの子どもたちが感性豊かに活動を振り返っています～

- 震災でふるさとを奪われた方々がなぜそこまでふるさとの復興に励みたいのか、すごく分かった気がしました。ふるさとを残したいという思いは同じなのだと感じました。(小6)
- 自分たちが楽しく安心して暮らせているのは、思った以上にたくさんの人に支えられているからだと気づくことができました。人を少しでも支える立場になりたい。(高2)



京都光華高校での
読み聞かせ



大阪明星高校での
読み聞かせ

ふくしまっ子ごはんコンテスト

～自分の朝食や食習慣を見直してみませんか～



献立の作成や食材の準備、調理等、ごはんを主食とした一連の食事作りを通して、生活習慣の改善や朝食摂取を基本とした望ましい食習慣の形成を図るとともに、自ら健全な食生活を実践する力(食べる力)の育成と、米を中心とした日本型食生活や地場産物について関心を高めることを目的に実施します。小学生は朝食作り、中学生は弁当作りを実践する機会として、アイデアあふれる献立を応募してみませんか?

- ***応募期間** 令和5年7月3日(月)から8月25日(金)まで
- ***応募方法** 応募用紙に材料や作り方を書いて、小学生は「(作った)1食分のごはん」、中学生は「(作った)ごはんのお弁当」の写真を貼ってください。
- ***応募先** 8月25日(金)までに、担任の先生へ提出してください。

令和4年度小学校上学年の部
最優秀作品



「めざせSDGs! 体にも地球にもやさしい栄養満点朝ごはん!!」

令和4年度中学校の部
最優秀作品



「会津の恵みでパワー全開弁当」

福島県健康教育課

検索

詳しい
応募方法はココ!

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

作品募集

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」の作品を今年度も募集します。子どもと大人、子ども同士の二人一組でペアを作り、日常生活などでの共通体験をとおした「絆部門」、ふくしまへの想い、復旧・復興等に関する「ふるさと部門(県内外から応募可能)」に作品をお寄せください。

募集期間 県内 令和5年6月13日(火)～8月31日(木) 必着
県外 令和5年6月13日(火)～9月7日(木) 当日消印有効

応募方法 応募用紙は各学校配布のものまたは社会教育課ホームページよりダウンロードしてご利用ください。(高校生は応募フォーム可)

応募先 作品は各学校またはお住まいの地域の教育事務所、県外の方は直接社会教育課へご提出ください。
※詳しくは、社会教育課のホームページをご覧ください。

福島県 十七字



【絆部門】
さんかんび まだかまだかと
ふりかえる 小学4年生
後ろ向く 我が娘に合図
前見てと母

【ふるさと部門】
喋らねば
凍えてしまっ 激震地 中学3年生
語り継ぐ
あの時君は 二歳児(母)

令和4年度最優秀作品より

令和5年度中学生・高校生の科学・技術研究論文「野口英世賞」募集

科学する心の育成を図り、明日の社会の発展を担う優れた人材を育成するため、科学及び技術に関するテーマに基づく研究論文を募集します。

令和5年度中学生・高校生の国際理解・国際交流論文「朝河貫一賞」募集

国際性豊かな人材の育成を目指して、国際社会における在り方・生き方等についての論文を募集します。

- ◆募集対象 県内の中学校(含む中学部)・高等学校(含む高等部)の生徒
※中学校には、義務教育学校後期課程を含みます。
- ◆募集期間 令和5年9月1日(金)～9月8日(金) (必着)
- ◆提出先 論文は在籍している学校の先生に提出してください。

令和5年度道徳教育総合支援事業

「モラル・エッセイ」コンテスト募集

あなたの心温まる体験談・すてきなエピソードをお聞かせください!

募集対象 県内の中学生(含む中学部)・高校生(含む高等部)・一般の方々・避難されたの方々

応募期間 令和5年7月3日(月)～9月8日(金)

表彰 優秀な作品を表彰します。

※詳細は、各学校及び義務教育課HPでご確認ください。

福島県 モラル・エッセイコンテスト



LINEで相談しませんか?

県では、LINEを活用した相談窓口「ふくしま子どもSNS相談」を開設しています。児童生徒のみなさんの不安や悩みを、LINEで臨床心理士等の資格を持っている専門家に相談することができます。

対象 県内公立学校の児童生徒 **相談受付** 毎日17:00～20:40(相談は21時まで)

相談方法 LINEのトーク画面で相談

学校から配布されたチラシに載っている二次元コードを読み取る ⇒

パスワードを入力する ⇒ 友だち登録 ⇒ 相談開始

※相談内容によっては専門機関と情報を共有することがあります。



相談する際には、パスワードの入力が必要です。令和4年度までに友だち登録をしている人も、パスワードの入力が必要です。相談したい人は、担任の先生にチラシをもらってね!

相談窓口のお知らせ

いじめ、不登校、体罰などの様々なお悩みに対する相談窓口を開設しています。一人で悩まず、お電話ください。悩みを抱えているお子さんや保護者の方が対象です。

〈いじめ問題や不登校、体罰などの教育相談電話〉月～金 10:00～17:00

「ダイヤルSOS」 **0120-453-141**

〈子どものための24時間電話相談〉毎日24時間いつでも電話できます。

「ふくしま24時間子どもSOS」 **0120-916-024**

※県教育委員会ではHP等の掲載広告を募集しています。詳しくは

ここから下の段は広告です。掲載の広告は県教育委員会の事業とは関係ありません。

お父さんやお母さんにおすすめ
あまりお金をかけたくないわが家は
県民共済に決めました。

月掛金が2,000円でも保障が手厚い!しかも支払いが早いって好評みたい。

●保障内容等については県民共済のホームページをご覧ください。



スマホなら
申し込んだ日の
「翌日からの保障」が
選べるんだ!

インターネット
経由限定!

共済取扱団体
福島県認可

福島県民共済生活協同組合 **0120-282-869**

【受付時間】平日 9:00～17:00

〒960-8031 福島市栄町6-6 ユニックスビル9F

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

広告誌へのご意見をお寄せください
k.kouhou@pref.fukushima.lg.jp